

16. 旧日本基督教団福島教会会堂

所在地 (福島市宮下町1-6)

1. 建物 木骨煉瓦造、一部二階建(塔屋付)

- ・「明治42年(1909)建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズが最初にてがけたとされる教会堂建築で、正方形平面の礼拝部の北に内陣、南に集会室を突出して設け、集会室脇に鐘楼を付属する。木造による軸組と煉瓦造の壁体を混合した構造で、外観も変化に富む。

設計は明治末から昭和にかけて数多くのキリスト教系建築を設計したヴォーリズで、これは同人が最初に手がけた作品とされている」(注1)

- ・「明治42年3月3日仙台においてボーリス氏と会見・依頼、同5日同氏来福、4月上旬設計図到着、7月5日仙台で棟梁斎藤信吉氏と工事契約・5400円、7月20日着工、12月20日竣工」などの経過も記録されている。」(注2)

2. 登録有形文化財

- ・平成13年(2001)10月29日 登録有形文化財に登録

3. 東日本大震災被災、解体その後

- ・平成23年(2011)3月11日 東日本大震災及び余震

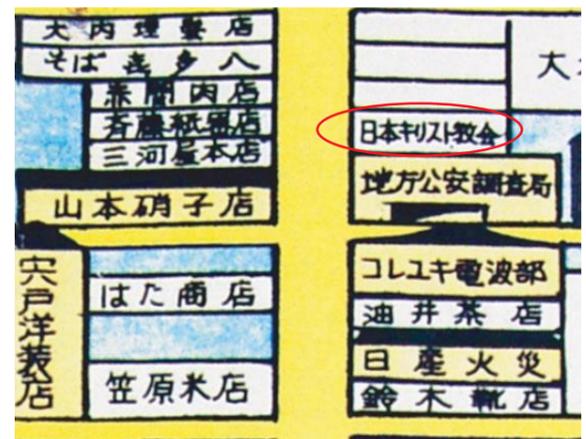
により大きな被害を受けました。

3月22日 解体が決定し、開始。29日完了

- ・平成24年(2012)2月7日 国登録有形文化財 抹消
- ・平成26年(2014)12月 新教会竣工

【注】

1. 「月刊文化財 1月号「登録有形文化財一覧」」 2001
2. 「明治の洋風建築」草野和夫 1979



昭和30年地図の位置



明治42年(1909) 12月献堂式 *

旧日本基督教団福島教会会堂